

1.はじめに

新年を迎えて気持ちを新たに、残り少ない留学生生活を最高のものにしようと思った。アメリカの正月は日本に比べると簡素なものである。しかし、私がホームステイしたところは日本式のお正月を行っていた。お雑煮や蕎麦を食べさせてもらった。アメリカに来てから日本食をあまり食べていなかったのでもとても新鮮に思えた。

2.生活

2.1 学内での生活

1 月に入るとテレホートにも雪が積もった。大学内にある大きな池も凍っていてスケートをしている人もいた。学内の様子を図 1 に示す。土日は友達と料理する機会が増えた。牛丼、蕎麦、アニメ料理などに挑戦している。



図 1 学内の様子

2.2 授業

• ECE204 AC Circuits

Lab という実験を毎週行っている。これは授業で習ったことを実際に試して結果をまとめ考察を行うものである。今では事前学習からまとめまでスムーズに行うことが出来て成長を感じられる。

• CSSE120 Intro to Software Development

この科目ではPython のプログラムを習っている。今現在、授業ではレゴロボットを指定されたプログラムを書き動作を反映させるという活動をチームで行っている。苦戦している科目である。その対応策として以下のことを積極的に行っている。

• オフィスアワーの活用

この科目の教授のオフィスに行き個別に教えてもらっている。教授の方からも分からないことがあったら聞きにおいでと言われていたので積極的に利用している。

• この科目を受けたことのある人に聞く

CSSE120 はCSSE 専攻の人にとっては必須の科目であるため寮に住んでいる専攻の人に聞く。誰かに相談すれば取っていた人を紹介してくれるのでとても助かった。

- ESL111 Listening and Speaking

秋学期と比べると少人数ということもあり、発言する機会が増えたように感じる。また、以前よりメモを取るスピードが速くなったと思う。これは ESL の先生に相談したとき Ted talk を途中で止めないでしっかり聞きなさいと言われたので集中して聞くようにしたからだと思う。また、そのあとに繰り返し聞くことで内容も理解できるようになった。この方法が自分に合っていたと思う。

3. イベント

- 新年

ハッピーニューイヤーはホームステイの人たちと行った。ホームステイに来ていた何人かはタイムズスクエアで行われるイベントに参加していた。今年のニューヨークの年越しはここ 100 年で最も寒い日を記録している。12 月の報告でも書いたようにホームステイはとてもいい経験になった。それはホームステイに来ている人と交流することで自分がしてきたことのない経験を知ることができ意見交換ができるからである。もしホームステイをしてみたいという人がいれば紹介したいくらい良い思い出だった。

4. 最後に

留学も残すところ 1 週間と少しとなったアメリカ来たころは不安だったが、今はアメリカを離れることがさみしく感じる。アメリカに来たことで、自分自身変化したのではないかと感じる。それは今までより積極的に行動できるようになったことだと思う。自分の意見を相手に伝えるためには、自分から行動しないと伝わらず、受け身のままでは異文化の中で生活できないのである。留学できたことは本当に自分の財産になっていると思う。残り少ない留學生活、しっかり学んで帰国したいと思う。これで 1 月の報告とします。